

高等学校教員のためのガイドブック

実践

# 高等学校における 学びを支えるための支援ガイドブック



千葉県総合教育センター



## はじめに

平成21年8月に出された文部科学省「特別支援教育の推進に関する調査研究協力者会議」の「高等学校ワーキング・グループ」の報告によると、高等学校に進学する発達障害等困難のある生徒の高等学校進学者全体に対する割合は、約2.2%であったという報告がなされました。本県においても、中学校から高等学校への進学率を考えると、これらの生徒に対する適切な指導や支援は喫緊の課題であるといえます。

高等学校において学習面や行動面に困難のある生徒に対する指導や支援は、これまで生徒指導や教育相談の中で行われてきました。しかし、これらの生徒に対して、生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、そのニーズに対応した適切な指導や必要な支援を行うという特別支援教育の理念に基づいた教育は、少しずつ体制整備が進められ現在に至っていますが、卒業後の自立と社会参加に向けての高等学校段階での適切な指導や支援については、まだまだ課題が多いといえます。

千葉県総合教育センター特別支援教育部では、平成21年度より「高等学校における学びを支えるための実践的研究」というテーマで3年間の調査研究を行ってきました。初年度に実施したアンケート調査の結果からは、高等学校において学習面や行動面に困難のある生徒が在籍していることと、それらの生徒への対応については各学校とも苦慮している様子がわかりました。

そこで、本ガイドブックは、学習面や行動面に困難のある生徒に対する気付きのためのチェックリストやそのチェックリストに対応した支援例、校内支援体制の在り方等についてまとめました。また、実践事例については、高等学校の先生方に御協力いただき、学校での取組をまとめましたので、御活用いただければ幸いです。

このガイドブックの活用を通して、発達障害等により学習面や行動面に困難のある生徒に対する理解が深まり、高等学校において「困っている生徒」に対して適切な指導や支援が行われるようになることで、高等学校での特別支援教育の広がりにつながっていくことを願っています。

最後に、御多忙の中、丁寧に御指導下さいました独立行政法人国立特別支援教育総合研究所総括研究員大城政之先生、研究協力校の校長先生はじめ先生方、研究協力員の方々に深く感謝申し上げます。

平成24年3月

千葉県総合教育センター

所長 草刈 精一

# 高等学校における学びを支えるための支援ガイドブック

はじめに

目次

I	支援ガイドブックの活用	
1	こんな生徒はいませんか？	1
2	発達障害とは	2～3
3	支援のための手順マップ①	4
	支援のための手順マップ②	5～6
II	「行動の気になる生徒のチェックリスト」	
1	「行動の気になる生徒のチェックリスト」とは	7
2	行動の気になる生徒のチェックリスト	8～10
3	チェックリストのレーダーチャートに表れるタイプ別の支援について	11～12
	心理検査について	12
III	チェックリストの領域別支援	
1	チェックリストの領域別支援例	13～26
2	支援の実際例	27～30
IV	校内で支援するために	
1	ケース会議の実施	31
2	実態把握	32
3	個別の指導計画の作成	32
4	校内委員会	33
5	校内支援体制	34
6	特別支援教育コーディネーター	35
	◇コラム◇	
	「特別支援教育コーディネーターからの声」	35
	「テストの配慮について」	36
	「学習の評価について」	37
V	実践事例集	
1	チェックリストを活用して指導・支援した例 その1 コミュニケーションに困難がある生徒への指導・支援	38
2	チェックリストを活用して指導・支援した例 その2 学習面に困難さがある生徒への指導・支援	39
3	卒業後の進路に向けての支援について	40～41
4	中学校との連携について	42
5	「生徒の学びを支えるための授業チェックシート」を活用した例	43～45
6	ソーシャルスキルトレーニングの実践例	46～47
7	校内支援体制を整えて指導・支援した例	48
8	よりよい学級経営のために hyper-QUの活用をとおして	49～50
9	関係機関との連携 関係機関一覧	51～54
VI	「生徒の学びを支えるための授業チェックシート」	55～57